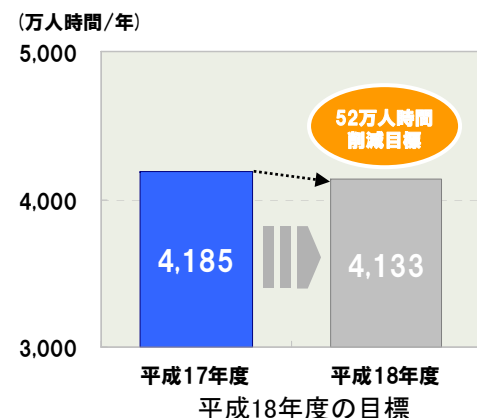


### 平成18年度目標値の設定

平成18年度は国道2号厚狭・埴生バイパスや県道262号萩バイパス等が供用され、更なる渋滞緩和が期待できます。これらの施策により平成18年度は、約52万人時間/年の渋滞損失削減を目指します。必要に応じて有料道路の割引実験やTDM等のソフト施策も視野に入れ渋滞の緩和に努めます。



### 目標達成に向けた主な事業

平成18年度の目標達成に向けた主な事業

事業主体	事業名称	延長	供用年次	目標とする渋滞損失時間の削減効果	関連する主要渋滞ポイント	紹介ページ
国土交通省	国道2号厚狭・埴生バイパス	部分供用 2.7km (暫定2車線)	H18.7	42万人時間/年削減	・上市交差点 ・埴生西系根交差点 ・前場交差点	⇒14P
山口県	国道262号萩バイパス	部分供用 1.2km (4車線)	H19.3	2.4万人時間/年削減	-	⇒15P
	萩川上線	部分供用 0.8km (2車線)	H18.10			
	国道490号宇部拡幅	部分供用 1.0km (4車線)	H18.4	7.1万人時間/年削減	・北迫交差点	⇒16P
合計				51.5万人時間/年削減		

萩バイパス



萩バイパスは萩市中心部の渋滞緩和に向けた総延長1.9 kmのバイパスです。

厚狭・埴生バイパス

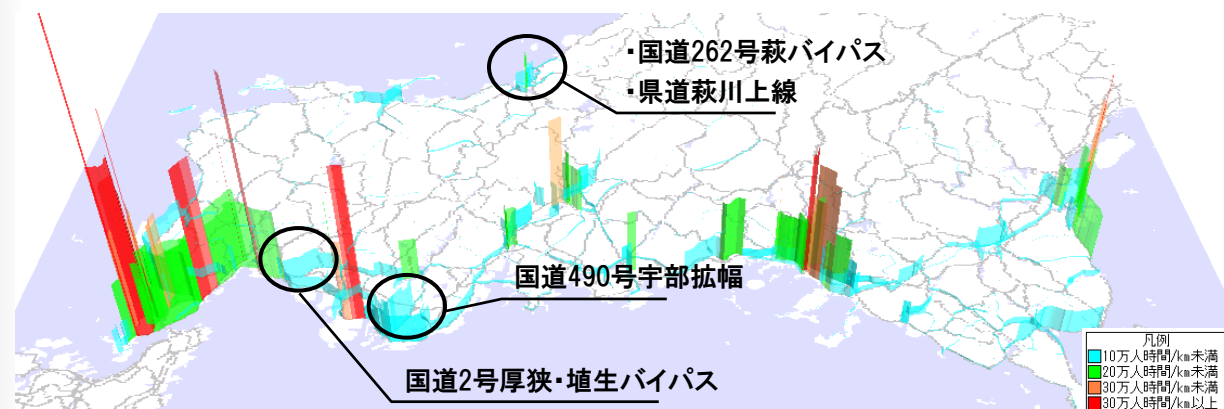


厚狭・埴生バイパスは宇部市から下関市に至る区間の渋滞緩和や交通安全対策に向けた総延長12.6kmのバイパスです。

宇部拡幅



宇部拡幅は宇部市街地北部の渋滞緩和に向け総延長6.0kmを整備中です。



※平成17年度渋滞損失時間をもとに作成

### バイパス供用による国道2号の渋滞緩和

対策事業 国道2 ROUTE 厚狭・埴生バイパス

平成18年7月部分供用

国道2号の宇部市から下関市に至る区間は、近年の交通量の増加により渋滞や事故が多発し、都市活動に大きな影響を与えています。これらの渋滞緩和や交通安全対策を目的として、宇部市逢坂から下関市松屋東町二丁目に至る延長12.6kmの「国道2号厚狭・埴生バイパス」を建設中です。これまでに、暫定2車線で8.1kmを供用していましたが、新たに平成18年7月に県道埴生停車場線から下関市松屋東町二丁目までの延長2.7kmが暫定2車線で供用されました。



前場交差点の渋滞状況



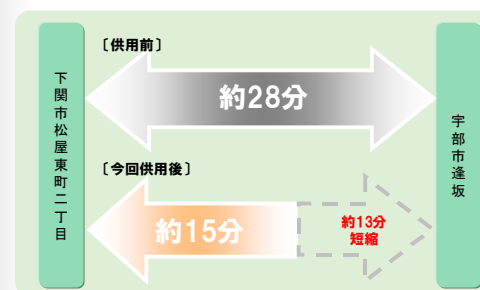
厚狭・埴生バイパス (H18.7.29供用区間)



取組み概要

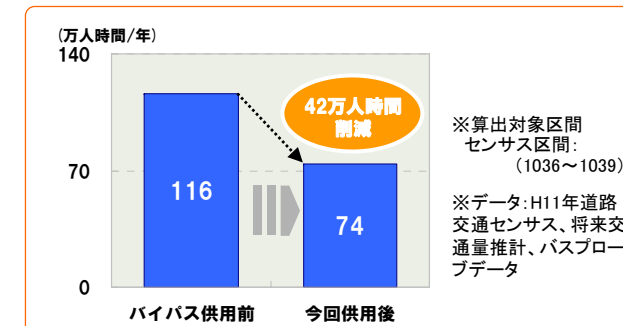
#### ■ 所要時間の短縮が期待できます。

下関市松屋東町二丁目～宇部市逢坂間の所要時間約28分が、今回の供用により約15分へ短縮することが見込まれます。



#### ■ 渋滞損失時間の削減が期待できます。

今回の供用により、国道2号前場交差点付近の交通量約29,100台(H11)から、厚狭・埴生バイパスへ6割弱の交通の転換が予測され、42万人時間/年の渋滞損失時間の削減が見込まれます。



期待される整備効果

#### ■ 住民の方々が効果を実感しています。

埴生の市街地は交差点や、スーパーや学校などが連続していて、朝夕はどうしても渋滞になっていましたから、バイパスができて快適に走行できるというだけでなく、安全性も高くなりますね。脇道との接続が交差点ではなく、ランプウェイになっているのもスムーズな走行ができそうでいいですね(運送会社経営)。

小月バイパスから厚狭・埴生バイパスとつながると、小郡方面でも、宇部・小野田方面でもずいぶん早く行けるようになりそうですね。今までは埴生地区の渋滞で時間が読めなくて、抜け道を探していたりもしましたが、バイパスの完成で通るのが苦痛でなくなりそうです(主婦)。

今まで、片側1車線の国道で県中央部とつながっていたのが、厚狭・埴生バイパスが完成すると、一気にスムーズな流れになって近くなりそうで、期待しています。物流のための長距離トラックと、地元の生活のための一般の自動車の流れが分かると、どちらの利用者にとってもスムーズになっていいと思います(営業職)。